

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和6年 2月22日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 3月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

～ 夢を抱き、大志に向かって！ 藤塚小学校 ～

校長 出口栄生

令和6年が始まって2か月が経とうとしています。学校は元気一杯、子どもたちの声で活気があります。

先日の朝会では、「大谷翔平」選手のグローブを紹介しました。大谷選手は、ご存じのとおり、「二刀流」で有名な大リーグで活躍する日本人の一人です。大谷選手は、昨年、全国の小学校にグローブの寄贈を申し出られ、本校には、先月、3つのサイン入りグローブが到着しました。

私は、朝会で「夢」を持つ大切さを話しましたが、子どもたちは大谷選手のグローブに、是非、手を触れてみたいと思います。このグローブには、大谷選手が小学生のころからプロの野球選手になり、その後は大リーグでの活躍、そしてその夢の実現を果たしたことを物語るっており、夢が凝縮されているように思います。ひたむきに努力する人の姿は素晴らしく、感動した人の手助けやサポート、これらも大谷選手の野球人生を支えたのかもしれません。



競争の厳しい大リーグの世界。大谷選手の強い志がなければ、ここまで成し遂げられなかったでしょう。もちろん、数多くの失敗もあったことでしょう。しかし、夢は具体的な大志になり、夢や大志こそが、失敗を乗り越え前に生きる力となります。夢はそれだけ大きな力を持ち、人生を豊かにするものなのです。

子どもたちは、教室で実際に触れたり、見たり、また、グローブの中に指を入れて、その感触を楽しんでいました。この体験から、子どもたちは、今持っている夢や志の大切さを学び取り、地道な日々の努力を重ね、将来の夢を実現してほしいと考えます。

孫氏の兵法の言葉である「善く戦う者は、その勢は陰にしてその節は短なり（地道な努力でいざというときに力をためること）」のとおり、子どもたちは、地道な努力で得た力を夢のために、将来惜しみなく使ってほしいものです。

3月は、6年生が卒業し、そして1年生から5年生の、それぞれが進級します。大切な夢をもって卒業、進級し、その後、社会人になっても「大志」を抱き続け、世界で活躍してほしいものです。

【写真：大谷選手から頂いたグローブ】